生徒心得

大府特別支援学校の生徒としての自覚をもち、自分の行動に責任をもとう。

- 1 自分の病状を理解し、健康管理に自主的に取り組もう。
- 2 自分や友達を大切にし、よい校風をつくり上げよう。
- 3 授業時間を大切にし、学習に励もう。
- 4 きまりを守り、規則正しい学校生活を送ろう。
- 5 礼儀正しい生活態度を身に付けよう。

1 自分の病状を理解し、健康管理に自主的に取り組むこと

- (1) 自己の健康管理に気を配ろう。
- (2) 自分の学習度や運動量にあった生活をしよう。
- (3) 心や身体について不安なことは、一人で悩まず相談しよう。

2 自分や友達を大切にし、よい校風をつくり上げること

- (1) 進んであいさつを交わし、楽しい雰囲気をつくろう。
- (2) 机やロッカー内の整理整頓をし、校内清掃に努め、過ごしやすい環境をつくろう。
- (3) 友達を思いやる気持ちを大切に、友達の優しさに感謝しよう。

3 授業時間を大切にし、学習に励むこと

- (1) 授業に対して積極的に取り組み、分からないことはその場で解決しよう。
- (2) 始業時刻までには教室内に着席し、次の授業の準備をするように心がけよう。

4 きまりを守り、規則正しい学校生活を送ること

(1) 登下校

ア 登下校は、学習度と時刻を守り時間にゆとりをもとう。

イ 登校時刻 8:45から8:50まで

昼登校時刻 13:35までに登校(病棟生)

ウ 下校時刻 15:50(6限授業、部活動・生徒会のない日)

16:30(部活動・生徒会のある日)

※ 一人登下校の病棟生は、下校時刻の5分後には必ず帰棟しましょう。

エ 欠席及び遅刻のときは、必ず保護者や看護師に学校へ連絡してもらおう。

スクールバス利用者は、スクールバスにも連絡しよう。

オ 下校の際は、教室、廊下等の戸締まり、消灯をしよう。

(2) 校内生活

ア 約束やルールを守り、無理なく落ち着いて生活しよう。

イ 学校生活に必要なでないものは持ってこないようにしよう。不要な物を持ってきた場合は、一時預かる場合があります。

ウ すべての持ち物には記名をし、整理整頓に心がけよう。

エ 許可なく学校の備品を持ち出さないようにしよう。(図書館の本は借りることができます)

オ 校内での事故防止のため、廊下は走らず右側を歩こう。

カ 保健室を利用する場合は、先生と一緒に歩こう。

(3) 校外生活

ア 家庭や主治医(病棟を含む)との約束やルールを守り、無理なく落ち着いて生活しよう。

イ 交通規則やインターネット上でのモラルを守り、加害者にも被害者にもならないようにしよう。

5 礼儀正しい生活態度を身に付けること

(1) 礼儀

ア 正しく丁寧な言葉遣いで話そう。

イ 登下校時には、進んであいさつを交わそう。

(2) 服装等

衣替えは原則として6月1日、10月1日としますが、体調や寒暑の程度に応じて調節しよう。

ア 制服 … 地元中学校に準じた制服、または標準服。

イ 履き物

・外靴 … 華美でない運動靴(病棟生は上履きで登下校)

・靴下 … 白、黒、紺の無地、地元中学校の服装に準じる。華美でないもの。

(冬季に黒色のタイツ等を着用してもよい)

・上履き … 無地、又は無地に近いもの。

ウ 頭髪

・清潔な髪型(肩より髪を伸ばす場合は束ねましょう)

・パーマ、カール、ブリーチ、ヘアカラーは避け、学生らしい頭髪にしよう。

・ヘアバンド、リボン、髪飾りは使用しないようにしよう。

エ その他

・アクセサリー(指輪、ネックレス、イヤリング・ピアス等)や、化粧品(マニキュア等)は使用しないようにしよう。

・制服(以下標準服を含む)の加工(スカートを曲げる等も含む)をしないようにしよう。

・登下校時は制服を着用します。部活動後の下校時は、体操服のままでかまいません。

・体育や自立活動、作業学習等の授業以外は制服で過ごそう。

・病状により制服が難しい場合は、担任に相談しましょう。その場合に望ましい服装は、体操服を基本とし、華美でない服装(上は白、下は黒か紺)を基本とします。

・防寒コートや防寒着は、華美でない、無地又は無地に近い物を着用しよう。

・携帯電話の校内への持ち込みについては、自宅からの自力通学の生徒に限り、携帯電話等利用届を提出して許可を得ることとします。使用の際は利用規定を守りましょう。